

第8回市町村対抗福島県軟式野球大会

大会要項

1. 趣 旨 福島県内の軟式野球レベルの向上と、各市町村の交流を生み、その結束力が福島県内の地域活性化を促すような原動力となる大会にする。「復興 未来へ ふくしまの力で」をスローガンに、県民が心ひとつに前進する契機とする。
2. 主 催 福島県野球連盟 福島民報社
市町村対抗福島県軟式野球大会実行委員会
3. 主 管 福島県野球連盟県北支部 福島県野球連盟県中支部
福島県野球連盟県南支部
4. 特別協賛 株式会社リオン・ドールコーポレーション
アサヒビール株式会社福島支社
J A共済連福島 (予定)
5. 協 賛 創世グループ
ナガセケンコー株式会社
株式会社ケー・エス・シー (予定)
6. 後 援 福島県 福島県市長会 福島県市議会議長会 福島県町村会
福島県町村議会議長会 (公財) 福島県体育協会
(公財) 福島県観光物産交流協会 福島市教育委員会
郡山市教育委員会 本宮市教育委員会 毎日新聞福島支局
スポーツニッポン新聞社福島支局 ラジオ福島
NHK福島放送局 福島テレビ 福島中央テレビ 福島放送
テレビユー福島 (予定)
7. 協 力 学校法人三育学園 西部三育幼稚園 (予定)
8. 会 期 開会式・交流会＝9月13日(土)
交流会＝郡山ビューホテル アネックス
試合日＝9月13、14、15、20、21、27、10月4、5日
9. 会 場 開成山野球場 あづま球場
しらさわグリーンパーク野球場
10. 試合方法 トーナメントとし、全試合7回(イニング)とする。
11. 出場資格 (1) 競技者は、平成26年4月1日現在、所属チームの市町村に住民票があり在住している者とする。平成26年4月2日以降の転入者は参加できない。
(2) 普段、所属するチームが在住市町村と違う選手は、在住市町村の承諾を得た場合に限り、所属チームのある市町村から出場できる。この場合、在住市町村チームの承諾書を添付しなければならない。
(3) 「ふるさと選手」は他市町村、他県在住者であっても、出身中学校のある各市町村から5名以内に限り参加できる。

(4) 東日本大震災等の被害甚大な市町村については、特別措置(別記)を講じる。

12. チーム編成
- (1) 各市町村1チームとする。
 - (2) 各市町村長が推薦した社会人(女性も可)による選抜チームとする。
 - (3) 県野球連盟登録チームが単独で出場することは認めない。ただし、他チームの選手を10名以上加えた選抜チームであれば参加は認める。
 - (4) 1チームの編成は監督、コーチ、選手を合わせて28名以内とする。(部長、代表者、市町村担当者等)を1名決める。
 - (5) 東日本大震災等の被害甚大な市町村については、特別措置(別記)を講じる。

13. 競技規定
- (1) 2014年公認野球規則、及び本大会特別規則を適用する。
 - (2) 組み合わせは抽選によって決定する。チームの都合による試合日の変更は認めない。
 - (3) 降雨で試合が中止になった場合は、順延とする。

14. 使用球 ケンコーボールA号

15. 参加料 各チーム20,000円

16. 申込期間 4月28日(月)～5月16日(金)まで。
所定の申込書に市町村名、担当者名等を明記し
下記まで郵送する。

<申込先> 〒960-8602 福島市太田町13番17号
福島民報社事業局内 市町村対抗県軟式野球大会事務局宛
(TEL: 024-531-4171 FAX: 024-531-4157)

17. 選手登録名簿提出期間
大会事務局より参加市町村へ選手登録用紙を送付する。提出期間は7月25日(金)までとし、送付先は上記(16.)大会事務局とする。

18. 代表者説明会・組合せ抽選会
<日時> 平成26年7月9日(水) 14時00分
<会場> あづま総合体育館 研修室

19. 開会式 開会式を下記日程で行う。各チーム10名以上の選手が参加のこと。
<日時> 平成26年9月13日(土)
<会場> 開成山野球場

20. 交流会 交流会を下記日程により開催する。
<日時> 平成26年9月13日(土)
受付17時30分 開会18時00分
<会場> 郡山ビューホテル アネックス

21. 表彰式 入賞した3位チーム(計2チーム)については、準決勝戦終了後に球場グラウンド内で表彰するので速やかに整列する。優勝、準優勝の各チームについても決勝戦終了後、同様に表彰する。

22. 表彰
- (1) 優勝チームには優勝旗、県知事杯（それぞれ持ち回り）を授与する。
 - (2) 準優勝、3位チームはそれぞれ入賞チームとし、表彰する。
 - (3) 個人賞として、最優秀選手賞、優秀選手賞、敢闘賞それぞれ1名を表彰する。
 - (4) 優勝・準優勝チームの監督に創世グループ賞（監督賞）を贈る。
 - (5) フェンス越えのホームランを放った選手に柵越え賞（ホームラン賞）を贈る。
 - (6) 感動を与え、優れた応援を繰り広げた応援団に応援団賞を贈る。

23. 特別規則
- (1) ゲームは7回であるが、降雨で7回までイニングが進まなくても5回を過ぎればゲームは成立する。
 - (2) 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。ただし、決勝戦は適用しない。
 - (3) 延長戦…7回を完了しても勝敗が決しない場合は、8回より特別延長戦（無死満塁、打順は継続）により勝敗を決する。なお、特別延長戦で決しない場合は、さらに継続打順で勝敗が決するまで繰り返す。
 - (4) 特別継続試合…降雨などで試合が途中で中止になった場合、再試合としないで特別継続試合とする。
 - (5) 本大会は、指名打者制を採用する。指名打者を使用できるポジションは、投手に限る。

24. 競技運営注意事項
- (1) ベンチは組み合わせの若い方を1塁側とする。
 - (2) オーダー表の提出は、その日の第1試合の開始時刻30分前に6部提出し、審判員立会いのうえ攻守を決定する。第2試合以降は、前の試合の4回終了時に同様に行う。
 - (3) 当日の第1試合出場チームは、外野に限り練習に使用してもよい。ただし、全員ユニフォームを着用する。
 - (4) ベンチ内への携帯電話、マイク等の持ち込みを禁止する。メガホンは1台に限り持ち込みを認める。
 - (5) 試合開始時刻は早まることもある。各チームは開始予定時刻の30分前には集合すること。試合開始時刻になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とする。
 - (6) 雨天時も球場が使用可能な場合は試合を行うので、大会事務局より中止の連絡がない限り球場に集合する。
 - (7) 大会でベンチに入れる人員は、監督を含む選手28名以内と、選手として登録しない部長（チーム責任者）、マネージャー、スコアラー計3名までとする。ただし、3名については選手登録名簿に記入する必要はない。
 - (8) 次打者席でバットの素振りを禁止する。低い姿勢で待つ。

25. その他
- (1) ユニフォームは基本的に同色、同形、同意匠であるが選抜チームで不揃いの場合は、背番号「0～30」を統一する。監督は「30」、コーチは「28」、「29」主将は「10」番とする。
 - (2) 捕手は危険防止のためヘルメット、マスク、レガース、プロテクター、ファウルカップを着用する。
 - (3) 各チームでスポーツ傷害保険に加入する。

- (4) 試合中に発生した事故については、主催者で応急手当や救急車等の手配はするが、その後の処置・対応については各チームで行うものとし、試合中以外の事故等は主催者として責任を負わない。
- (5) 申し込み後の選手の変更は認めない。
- (6) 試合中のボールボーイは、当該チームが担当する。ヘルメットを着用のこと。

東日本大震災・福島第一原子力発電所事故被害における特別措置

1. 特別措置の該当市町村（12市町村）

※津波と原発事故により多くの住民が避難を余儀なくされている市町村

相馬市、南相馬市、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、
大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯舘村

2. 出場資格について

- (1) 被災し、居住地の移転を余儀なくされた選手は、被災前に居住していた市町村からの出場を原則とする。また、被災前に居住していた市町村が出場しない場合は、被災後に居住している市町村から出場できる。
- (2) 諸般の事情により避難先の市町村から出場する場合は大会事務局を介して被災前に居住していた市町村のチームの了解を得る。
- (3) 「ふるさと選手」の人数制限を設けない。

3. チーム編成について

市町村単位でのチーム編成が難しい場合、特別措置の該当市町村間で編成する連合チームを認める。

以上

第8回 市町村対抗県軟式野球大会 トーナメント表

試合時間予定 ①8:30 ②10:00 ③11:30 ④13:00 ※9/19については、①10:00、②11:30、③13:00

会場 開成山:郡山市 開成山野球場
あづま:福島市 あづま球場
しらさわ:本宮市 しらさわグリーンパーク

